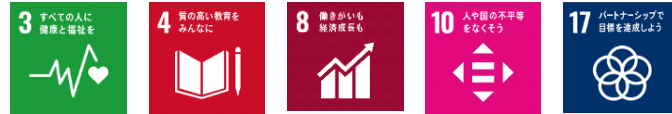


基本理念

地域（患者・かかりつけ医・住民・職員）の求めに応え、安全・安心な医療を支えます

計画の特徴

- 病院経営の基本理念の下、近江商人の行動哲学である「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の考えを基本に、“10年後の目指すべき病院像”を再設定
- 公立病院経営強化ガイドライン（総務省通知）に基づく6つの視点を踏まえた「公立病院経営強化プラン」に位置付け、計画期間を5か年に変更
- 「市立病院のSDGs目標」を次のように設定し、事業計画との関係性を明確化



1 策定の趣旨

市立病院が安定的かつ継続的に医療を提供していくための方向性等を示すもので、本計画では、「10年後の市立病院がどうあるべきか」目指すべき病院像を改めて再検討し「新たな病院像」を掲げ、地域の求めに応える病院として「特徴ある病院」の実現などに向けた目標と取組を示すものです。また、公立病院経営強化ガイドラインに基づく持続可能な地域医療提供体制を確保するための取組を明示します。

2 10年後の目指すべき病院像（5つの柱）

1 地域の求めに応える病院の創造
 （「総合病院」から「特徴ある病院」へ）
断らない医療の実現
専門性と得意分野の強化（センター化の推進など）
専門医療の推進

2 地域医療連携の実現
 （急性期医療を中心とした医療提供と連携強化）
地域医療構想を踏まえた役割・機能
機能分化・連携強化
医療連携の推進

3 地域包括ケアシステムの構築支援
 （切れ目のない医療提供と介護連携）
在宅医療の充実 介護との連携強化 予防医療の充実

4 誰もが納得する病院運営
 （患者によし、地域によし、職員によしの病院づくり）
良質で安全安心な医療の提供 人材確保と育成
魅力ある職場づくりの推進 施設・設備の最適化
住民とともに築く病院運営

5 健全で自立した経営基盤の確保
 （職員の意識改革と効率的・効果的な経営の推進）
経営の基盤強化と財政依存体質の改善
健全経営の推進

3 事業計画

- 1 地域の求めに応える病院の創造**
 - (1) 断らない医療の実現
 - (2) 専門性と得意分野の強化
 - (3) 専門医療の推進
- 2 地域医療連携の実現**
 - (1) 地域医療構想を踏まえた役割・機能
 - (2) 機能分化・連携強化
 - (3) 医療連携の推進
- 3 地域包括ケアシステムの構築支援**
 - (1) 在宅医療の充実
 - (2) 介護との連携強化
 - (3) 予防医療の充実
- 4 誰もが納得する病院運営**
 - (1) 良質で安全安心な医療の提供
 - (2) 人材確保と育成
 - (3) 魅力ある職場づくりの推進
 - (4) 施設・設備の最適化
 - (5) 住民とともに築く病院運営
- 5 健全で自立した経営基盤の確保**
 - (1) 経営の基盤強化と財政依存体質の改善
 - (2) 健全経営の推進
 - (3) 経営形態の見直し

○具体的な取組等（主なもの）

- ・救急車受入れの推進
・救急医療体制の強化
・救急医療に係る業務改善と専門職員の育成
- ・循環器内科の充実
・医療提供の強化とセンター化（がん、腎疾患・糖尿病）
- ・周産期・小児医療、整形外科医療、感染症医療、災害時医療の推進
- ・急性期医療の充実
・不採算医療、政策医療などの提供
・休床病床の再開
- ・「地域医療連携推進法人」制度の活用
・長期的な将来ビジョンとして統合・再編を目指す
- ・紹介・逆紹介の推進
・医療従事者を対象とした研修会・セミナーの実施
- ・訪問診療・訪問看護の充実
・情報システムを活用した効率的な医療提供
- ・入退院支援や相談体制の強化
・介護事業所等との会議・研修会等への積極的な参加
- ・健診・検診の拡充、人間ドックの再開
・住民を対象とした健康講座、生活習慣病セミナーの実施
- ・チーム医療やクリニカルパスの推進等による医療の質向上
・医療安全対策の推進（事故等の発生予防・再発防止対策）
・目配り、気配り、心配りなど、温かみのある医療の提供
- ・医師、その他職員の確保対策への注力
・職員の研修や自立的学習の支援など、教育研修の推進
- ・医師の働き方改革の推進
・職員満足度の維持・向上に向けた職場環境の充実
・人事評価制度の導入と処遇への反映
- ・施設・設備の適正管理、改修費・整備費の抑制
・デジタル化への対応
- ・病院ボランティアなど、病院運営への住民参加の推進
・情報発信の強化（医療情報や当院の取組等）
- ・主体的活動に向けた会議、プロジェクト、委員会の活用
・一般会計繰入金の考え方とその圧縮
- ・収益増加の対策（病床稼働率や機能評価係数の向上等）
・費用削減の対策（人件費の抑制、コストの最適化等）
・経営コンサルタントの活用
- ・現行の経営形態の維持と必要時の検討

4 収支計画

(単位: 千円、消費税抜き)

区分	R4年度(見込)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
医業収支 (医業収益－医業費用)	△ 919,183	△ 723,061	△ 461,371	△ 326,367	△ 259,473	△ 204,385
医業収支比率	82.9 %	87.7 %	92.2 %	94.6 %	95.7 %	96.6 %
経常収支 (経常収益－経常費用)	552,378	△ 219,224	△ 179,246	△ 37,859	28,013	81,641
経常収支比率	109.7 %	96.5 %	97.1 %	99.4 %	100.4 %	101.3 %
収益的収支	503,851	△ 278,502	△ 238,525	△ 97,138	△ 31,266	22,362